

企業法務の変革とAIガバナンス

AI Governance and the Innovation of Corporate Legal Practice

PROGRAM

09:45 司会：出井直樹 [弁護士・ニューヨーク州弁護士]

《開会の辞》 淵上玲子 [日本弁護士連合会会長]

《基調報告》 森際康友 [前国際法曹倫理学会理事長]

「AIが企業法務において社会正義に資するために」

How Can AI Help the Corporate Counsel Enhance CSR?

第I部 AI発展に伴う法務の革新——国際状況報告 [英語と日本語の同時通訳]

10:00 講演1 Tania SOURDIN [オーストラリア・ニューキャッスル大学名誉教授]

12:15 Ella SOURDIN BROWN [オーストラリア弁護士]

AI Governance and the Role of Lawyers within Organisations

「AIガバナンスと組織における弁護士の役割」(オンライン)

講演2 Matthias KILIAN [ケルン大学教授・国際法曹倫理学会理事長]

The Role and Regulation of the Lawyer in the Development and Use of AI in Legal Service: The Case of Germany

「法サービスでのAIの開発と利用における弁護士の役割と規制——ドイツの場合」(オンライン)

講演3 石田京子 [早稲田大学教授・国際法曹倫理学会理事]

「AI時代の法サービスと弁護士規律——日本におけるガバナンスの再設計」

Regulating Lawyers' Engagement with AI in Legal Services: Responsibilities and Governance Challenges in Japan

●第I部の登壇者・Zoom参加者によるシンポジウム

第II部 日本の企業法務の革新——AIの利活用が迫るもの [日本語]

13:15 司会：片山 達 [弁護士]

16:30 講演4 鈴木 卓 [企業内弁護士]

「企業法務の革新——AI時代の企業リスク管理」

講演5 丸山修平 [企業内弁護士・システム監査技術者]

「AIが企業法務にもたらす改善・改革とリスク——テクノロジー活用者の視点から」

講演6 谷 真人 [弁護士・前日弁連事務総長] 「AI時代の組織内弁護士を弁護士会はどう支援できるか」

講演7 松尾 陽 [名古屋大学大学院法学研究科教授] 「変わる企業法務が突き付ける法哲学上の課題」

【シンポジウム】

提 題 森際康友 「AI活用の現在地と弁護士倫理」

●第II部の登壇者・Zoom参加者によるシンポジウム

《総括コメント》 若林弘樹 [弁護士]

《閉会の辞》 田村陽子 [筑波大学教授・主催者代表]

企業内弁護士はAIの急激な発展にどう対応するか
依頼者たる企業を第一に、AIと弁護士自身の能力を開発
弁護士会はこの課題、また、企業法務の拡大・変革にどう関わるべきか
欧米の進展と比較しつつ本邦の課題を考察する

2026年3月14日(土) 9:45-16:30 Zoomウェビナー会議

●参加対象者：法実務家および研究者(Zoom参加)

主催 ● 弁護士および弁護士会の専門職的当為研究会

助成 ● 科研費基盤研究(B) 21H00673「弁護士会主導による弁護士の依頼者への誠実と公益配慮の調整と制度の構築」

協賛 ● 日本弁護士連合会(JFBA)/International Association of Legal Ethics (IAOLE 国際法曹倫理学会)

公益社団法人 商事法務研究会/愛知法曹倫理研究会

お申込み方法 ● 以下のURLまたはQRコードから申し込みフォームをご記入ください。ご登録後、登録確認フォームがお手元に届きます。

https://list-waseda-jp.zoom.us/webinar/register/WN_Py9tQVxnSnmEXkcl8qG4hw お問い合わせ ● ilest_admin@list.waseda.jp

